

## 会議結果報告書

1. 会議名 令和元年度 第8回 印西市環境推進市民会議
2. 日 時 令和元年12月20日（金）9：30～11：30
3. 場 所 農業委員会会議室
4. 出席委員：岩井会長、白川委員、小山委員、平林委員、福井委員、橋本委員  
事務局：黒田、藤原（環境保全課）
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
  - ・会議次第、会議席次表
7. 内 容
  - (1) 開 会
  - (2) 会長挨拶
  - (3) 議事

### ①地域交流館まつりについて報告

会長：11月23日（土）に行った地域交流館まつりだが、雨が降り参加者が前回より少なかったように感じるが、参加した皆さんから意見があれば伺いたい。

委員：実感として来場者は多いように感じた。ハザードマップへの関心が非常に高かった。スタッフの数が少なく大変だった。

会長：グレタさんのポスターの反応はどうだったか？

委員：大人は結構知っていた。子どもはあまり知らなかった。子どもはくじらのクイズに興味を持っていた。

委員：掲示物が少し少なかったような気がする。ハザードマップを掲示する位置が最初だったため、みんなそこに留まってしまった。貼り方を工夫したほうがいいと思った。SDGsについてノーベル賞受賞者の吉野氏や小泉環境大臣がSDGsのバッジをつけていたことを伝えたら関心を持っていた。

委員：テーマをもう少し絞って少ない人数でも対応できるようにする必要があると感じる。災害や海洋プラスチック問題、SDGs等とテーマが多いと説明も多くなってしまったため、何を言いたいかわかった方がいいように思う。

委員：ハザードマップをその場でほしいという人が結構いた。確かに焦点を絞るという点ではハザードマップは辞めた方がいいと感じた。SDGsも少しずつ浸透してきたように感じる。また、来年度はスタッフ用の名札を準備していただきたい。

## ②手賀沼流域協働調査について

市：12月12日（木）の協働調査ではどこの地点でも透視度30cm以上、無色無臭。CODもそれほど高くなかった。しかし、各地点においてナガエツルノゲイトウが見受けられた。

会長：前日の天気等のコンディションにもよる。湧水のCODが高いときがあったがあれは近くのゴルフ場の芝の肥料が流れていた。また、市民アカデミーを12月14日（土）に実施した。市民アカデミーでは初めにイノシシの話を環境保全課鳥獣被害対策係で行い、そのあとSDGsの話をした。イノシシは年々捕獲数が上がってきているようで、電気柵は国の補助金を使用して設置しているがメンテナンスは個人で行うそうだ。

委員：イノシシは夜行性だと思っていたがそうではないことを知った。また、雑食ということも知らなかった。

委員：イノシシの肉を売ればいい。

委員：安定的に捕れるものではないし衛生面的にも難しい。

会長：いろいろな話を聞いておもしろかった。SDGsについて今年度は情報を新しくした。SDGsの評価が世界一高いのはスウェーデン。以前はデンマークであった。日本は順位が少し落ち、CO2削減に後ろ向きで、女性の地位が低いことがあげられている。質問の中で、石炭火力は高効率発電であるのになぜだめなのかとの意見があった。石炭は火力やガス発電に比べCO2が2倍となる。世界から批判されるのは当然だと思う。アメリカで地球温暖化を止めようとしなないのは、経済が成り立たないからだと聞いた。自分の子供の孫の時代に新事実がでてCO2が0になると思っている。しかし、自分の子供の時代にはすでに危険であることを言わなくてはならない。

委員：グretaさんの行動は日本にはまだあまり広まっていないように思う。

会長：世界では400万人のデモ参加者がいたが日本では1万人程度であった。今後も地球温暖化防止だけではなくSDGsの総合的な話ができればいいと思う。

## ③市民会議での検討事項について

会長：環境基本計画の現状を理解し、改善していきたい。今後のスケジュールについて事務局より説明願いたい。

市：令和2年度に策定業務の委託業者を決定し、自然環境調査及び市民・事業者アンケートを実施する予定。令和3年度に調査を基に計画を策定していく。また、審議会及び市民・事業者会議を何度か予定している。特別な委員会等を開催する予定はない。予定では策定の際には事業者と市民会議は合同で行うこととなる。

委員：審議会と市民会議合同で環境基本計画について国や県から講師を呼んで勉強会を実

施したい。最近の基本計画の作りを知り、環境基本計画に何が必要か知るべきだと思う。

会長：おっしゃる通り県に見合った計画を立てる必要がある。

市：検討する。

委員：環境基本計画の中で課題として様々なものが上がっているが、解決するための施策ができていないのではと感じる。必要がありますだけではなく、具体的にどのように実施していくかまで環境基本計画の中で明記する必要があると思う。

委員：毎年環境白書で評価を行っているが、計画策定の際には計画全体で評価をする必要があるように感じる。

委員：環境推進会議とは何か。

市：市民会議と事業者会議の総称となる。

会長：では、今後環境基本計画について気が付いたことをまとめたいと思うが、皆さんの意見のとりまとめを白川副会長にお願いしたいと思うがどうか。

委員：異議なし。

副会長：了解した。

会長：市民会議での検討事項については今年度あと2回の実施だが、どのようにやるかスケジュール等を決めていきたい。

委員：自分の興味のある分野を掘り下げて発表してはどうか。

委員：では、項目ごとにメインの担当を決めてはどうか。

副会長：では、2-2 自然環境：小山委員、2-3 生活環境：福井委員、  
2-4 都市環境：橋本委員・平林委員、2-5 地球環境：岩井会長  
2-6 人づくり：白川委員とする。

委員：ワークショップ方式で付箋に意見を書いて模造紙に貼って行ってはどうか。可視化するのがいいと思う。

会長：では、まずは次回までに2-2～2-3の担当者は気が付いたことなどを付箋に書いてきていただきたい。担当者でなくとも、各自気が付いたことがあれば書いてきてほしい。

令和元年度 第8回 印西市環境推進市民会議の議事録は、事実と相違ないことを承認する。

令和2年2月21日

委員 岩井 邦夫

委員 福井 章夫